

◆身旺・身弱の計算

蔵干は「余気・中気・正気」の三つに分けられますが、実際に推命していくときに、どの蔵干を優先的に見たらいいのか？は手法がいくつかあります。

まずどの流派も、月支は、節入りから何日目に生まれているかで、どの蔵干を採用するかは決められています。しかし、月支以外の、年支、日支、時支においては、どの蔵干を採用するかといったときに違いが出てきます。

- ①ある流派は、すべて正気を採用するとしています。
- ②ある流派は、月支に合わせます。つまり、月支が余気ならば、すべての柱も余気を採用する、月支が中気ならば、すべての柱も中気を採用する、年支も同じです。
- ③ある流派は、按分計算を使います。（この按分計算について説明します。）
- ④ある流派は、決めずに全て見ようとしています。

※月支はすべて節入りから数える

時	⊙	月	年
● 余中 気気	余中 気気	● 余中 気気	● 余中 気気

①正気を採用

時	⊙	月	年
▲●□ 余中 気気	▲●□ 余中 気気	▲●□ 余中 気気	▲●□ 余中 気気

②月支に合わせる

時	⊙	月	年
余中 気気	余中 気気	余中 気気	余中 気気

③按分計算

細かく計算する

④すべてみる

◇いろいろな原書の

月律分野蔵干表

フォーチュンソフトの四柱推命プロ版から、六種類の蔵干をご紹介します。

『三命通会式』

『淵海子平式』

『命理約言式』

『日本教科書式』

『算命学式』

『明朝透派式』

三命通会式

いろいろな原書の月律分野蔵干表

子	壬	7	癸	24	辛	0
丑	癸	7	庚	5	己	19
寅	己	5	丙	5	甲	21
卯	甲	7	乙	24	壬	0
辰	乙	7	壬	5	戊	19
巳	戊	7	庚	5	丙	19
午	丙	7	丁	24	壬	0
未	丁	7	甲	5	己	19
申	己	5	壬	5	庚	21
酉	庚	7	辛	24	壬	0
戌	辛	7	丙	5	戊	19
亥	戊	5	甲	5	壬	21

分野諸説

- 三命通会
- 淵海子平
- 命理約言
- 日本教科書
- 算命学式
- 明朝透派

淵海子平式

いろいろな原書の月律分野蔵干表

子	壬	10	癸	21	辛	0
丑	癸	9	辛	3	己	19
寅	戊	7	丙	7	甲	17
卯	甲	10	乙	21	壬	0
辰	乙	9	癸	3	戊	19
巳	戊	5	庚	9	丙	17
午	丙	10	己	9	丁	12
未	丁	8	乙	3	己	19
申	己	10	壬	3	庚	18
酉	庚	10	辛	21	壬	0
戌	辛	9	丁	3	戊	19
亥	戊	7	甲	5	壬	19

分野諸説

- 三命通会
- 淵海子平
- 命理約言
- 日本教科書
- 算命学式
- 明朝透派

命理約言式

いろいろな原書の月律分野蔵干表

子	壬	10.35	癸	20.65	一	0
丑	癸	9.3	辛	3.1	己	18.6
寅	己	7.25	丙	7.35	甲	16.5
卯	甲	10.35	乙	20.65	一	0
辰	乙	9.3	癸	3.1	戊	18.6
巳	戊	7.25	庚	7.25	丙	16.55
午	丙	10.35	己	9.3	丁	11.35
未	丁	9.3	乙	3.1	己	18.6
申	戊	7.25	壬	7.25	庚	16.3
酉	庚	10.35	辛	20.65	一	0
戌	辛	9.3	丁	3.1	戊	18.6
亥	戊	7.35	甲	7.25	壬	16.5

分野諸説

- 三命通会
- 測海子平
- 命理約言
- 日本教科書
- 算命学式
- 明朝透派

日本教科書式

いろいろな原書の月律分野蔵干表

子	壬	10	癸	21	一	0
丑	癸	9	辛	3	己	19
寅	己	7	丙	7	甲	17
卯	甲	10	乙	21	一	0
辰	乙	9	癸	3	戊	19
巳	戊	7	庚	7	丙	17
午	丙	10	己	10	丁	11
未	丁	9	乙	3	己	19
申	戊	7	壬	7	庚	17
酉	庚	10	辛	21	一	0
戌	辛	9	丁	3	戊	19
亥	戊	7	甲	7	壬	17

分野諸説

- 三命通会
- 測海子平
- 命理約言
- 日本教科書
- 算命学式
- 明朝透派

算命学式

いろいろな原書の月律分野蔵干表

子	癸	31	乙	0	己	0
丑	癸	9	辛	3	己	19
寅	戊	7	丙	7	甲	17
卯	乙	31	乙	0	己	0
辰	乙	9	癸	3	戊	19
巳	戊	5	庚	9	丙	17
午	己	19	丁	12	乙	0
未	丁	9	乙	3	己	19
申	戊	10	壬	3	庚	18
酉	辛	31	乙	0	己	0
戌	辛	9	丁	3	戊	19
亥	甲	12	壬	19	乙	0

分野諸説

- 三命通会
- 測海子平
- 命理約言
- 日本教科書
- 算命学式
- 明朝透派

明朝透派式

節気蔵干表(十干36度区分法) 透派

	節気～6日目まで	7～12日まで	13日以降
子	壬	癸	
丑	癸		己
寅	甲		
卯	甲	乙	
辰	乙		戊
巳	丙		
午	丙	丁	
未	丁		己
申	庚		
酉	庚	辛	
戌	辛		戊
亥	壬		

◆按分計算

一刻は2時間ですので、120分です。

子の刻は、23時～1時

丑の刻は、1時～3時

寅の刻は、3時～5時

卯の刻は、5時～7時

辰の刻は、7時～9時

巳の刻は、9時～11時

午の刻は、11時～13時

未の刻は、13時～15時

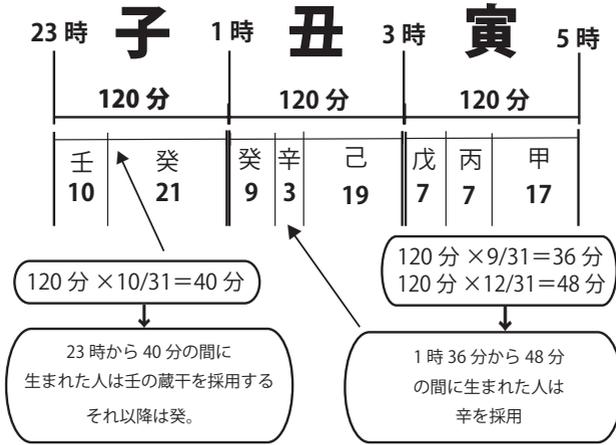
申の刻は、15時～17時

酉の刻は、17時～19時

戌の刻は、19時～21時

亥の刻は、21時～23時となります。

按分計算・刻（120分）



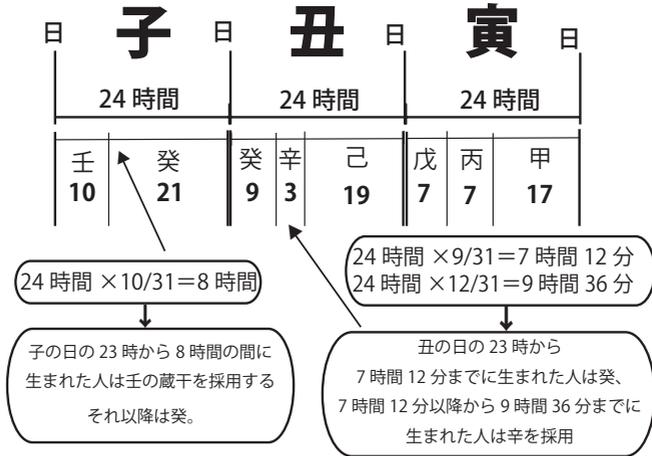
◇刻の按分計算法

刻の蔵干の計算方法は、上図のように、23時から23時40分の間に生まれた人は『壬』の蔵干を採用します。それ以降の子の刻に生まれた人は、『癸』の蔵干を採用します。

同じように、丑の刻では、1時から1時36分までは『癸』、1時36分以降、1時48分までは『辛』、それ以降の丑の刻に生まれた人は『己』を採用します。

このように、生まれた時刻に寄って、どの蔵干を採用するのかを計算していきます。

按分計算・日（24時間）

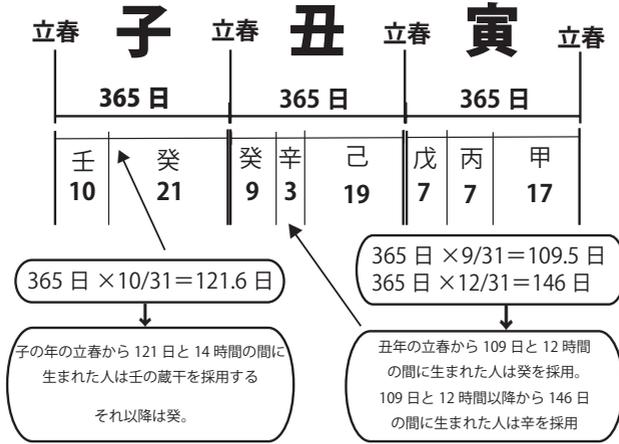


◇ 日の按分計算法

日の蔵干では、子の日の23時から8時間の間に生まれた人は『壬』の蔵干。それ以降に生まれた人は『癸』の蔵干を採用します。

丑の日の23時から7時間12分までに生まれた人は『癸』の蔵干を採用し、7時12分以降から9時36分までに生まれた人は『辛』を採用し、それ以降は『己』の蔵干を採用します。

按分計算・年（365日）



◇年の按分計算法

年の蔵干は、立春から一年後の立春までの365日で計算します。

子の年の立春から121.6日、つまり、121日と14時間までに生まれた人は、『壬』を採用します。それ以降は、『癸』の蔵干です。

丑の年の、立春から109.5日、つまり109日と12時間の間に生まれた人は、『癸』、109日と12時間から146日の間に生まれた人は、『辛』、それ以降は、『己』を採用します。

按分計算というのは、このような理論です。蔵干は、月律分野という、月の蔵干の配置に習っています。月の場合は、約30日を基準にしますが、時間の場合は、120分、日の場合は24時間、年の場合は365日を基準にして按分計算をし直します。そして、それぞれの蔵干を決定していきます。

この面倒な按分計算は、フォーチュンソフトの新四柱推命プロ版で、簡単に出すことができます。